

コロナ禍を乗り越えた東京オリンピック・パラリンピック競技大会  
成功に向けた決議

東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会（以下「大会」という。）は、新型コロナウイルス感染症の状況等を勘案して、その開催を令和三年夏に延期することが決定された。

世界における新たな状況に即し、競技とアスリートに重点を置きつつ、コスト削減とコロナ対策の両面から、簡素な大会としていくことが必要であるが、そうした中で、コロナ禍を乗り越え、世界中の多くの人々が夢と希望を分かち合える歴史に残る大会を作り上げることは、開催国としての我が国の責務であり、大会の成功は我が国の未来への扉でもある。

オリパラ特措法等改正案の早期成立を図りつつ、政府を挙げたコロナ対策の上で、国民の理解と共に、大会組織委員会・東京都等との緊密な連携の下、大会成功に向けた取組を政府において進めるべく、以下、決議する。

一 今後の感染再拡大を抑え込み、安全な出入国管理体制の充実を図るとともに、安全・安心な大会を実現するため、大会期間中及び大会前後の感染防止策、検査体制及び医療体制の構築を図ること。また、東京大会の成功に向けたコロナ対策の観点も踏まえ、途上国へのODA等を通じた支援方策の検討を行うこと。

二 三つの密の回避、マスク着用等の対応の必要性も踏まえた、暑さ対策、輸送対策、セキュリティ対策等に万全を期すこと。

三 ホストタウンにおいても、安全性確保のため、感染防止策や検査体制等を整備し、各国・地域選手団等が安心して来訪できる環境を整備すること。

四 スポーツの持つ力を再認識し、オリンピック・パラリンピックの意義についての機運醸成を図ることとし、来年の大会成功に向け、スポーツ活動の正常化に向けた環境整備とともに、成功の証ともなるメダル獲得に向けた国際競技力の向上のための支援の格段の充実を図ること。

五 東日本大震災から十年の節目での開催であることも踏まえ、復興五輪の旗を引き続き高く掲げ、被災地の復興を世界へアピールすること。

六 共生社会ホストタウン、「日本博」をはじめとする文化プログラム等を通じた日本文化や食の魅力発信、beyond二〇二〇マイベストプログラム等の幅広い取組を通じ、持続可能な社会の構築に向けて、次世代に誇れるレガシー創出を図ること。

七 大会開催国としての責務を確実に果たすため、大会の成功に向けた支援のために必要な予算の確保を図ること。

令和二年六月二十五日

自由民主党 2020年オリンピック・パラリンピック東京大会実施本部